

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スパークスタジオみなみ野 Rainbow Kids		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの発達の状況や課題について保護者とやりとりを行っている。	毎回の療育後に保護者へのフィードバックを実施し、療育の中での取り組みや課題について伝えている。また、保護者から学校やご家庭での様子、できるようになったこと、課題に感じている点などを共有してもらい、一貫した支援になるよう努めている。	フィードバックについて十分な時間を確保できない場面もあるため、他の職員が片付けや調整をサポートしながら、担当療育士がフィードバックの時間を確保できるよう努めている。 フィードバックや面談の際に聞いた内容については、ミーティングの機会やチャットツールを用いて全職員に共有することで、支援の連続性を意識している。
2	活動プログラムが固定化されないように工夫している。	職員が担当制ではない為、利用しているお子様一人ひとりの発達段階・特性を理解し、多様な視点から支援に関わることができるよう取り組んでいる。 遊びがルーティン化しているものなどについては、お子様の意思を尊重しながら、新たな興味・関心に触れられるよう、提示の方法について工夫を行っている。	療育前のミーティングの際に、お子様の取り組みや興味について療育士同士で共通認識を持ち、個別支援計画との照らし合わせも行いながら、実態に即した支援方針、支援内容について検討している。 外部や内部の研修の機会の充実を図り、より専門的な支援ができるよう、職員の質を高めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やペアレントトレーニング等、交流の場の設定について	ペアレントトレーニングを実施する上での専門的な知識を有した職員が不足している。 それぞれの悩み等が多岐に渡っており、相談が必要な際には、毎時間のフィードバックやアセスメントの際に職員が聞き取りを行っているため、保護者同士の交流の場を設定するに至っていない。	余暇活動を実施している時間での開催など、職員が対応できる日時を調整しながら企画を行う。その際には、保護者の方が知りたい内容や興味のある話題を事前に調査することで、より良い企画になるようにしていく。 また、場所については事業所の他、近隣の会議室等を借りることで確保できるよう検討する。
2	学校や他事業所との連携について	お子様が通っている学校や他事業所との連携については体制が整っておらず、定期的な連携を取れていない。 相談支援事業所などから連絡を受けた場合には、必要に応じて療育の様子などを共有している。	同一法人内の他事業所とは、全体会議の場面や共有ツールを活用して情報共有を行っている。各事業所で見られるお子様の特色が変わることもあり、より個々に合った支援の提供を目指している。 保護者様からご希望があった際には、学校などの関係機関と連携を取りながら、支援の方向性を検討している。
3			